nittoku

水性

省エネ外壁用遮熱塗料

環境対応型水性1液シリコン樹脂外壁用遮熱塗料

水性パラサーモ外壁用

《第5版》

外壁からの熱の侵入を遮る
水性タイプの遮熱塗料。

外壁

外壁からの熱の侵入を大幅に遮断し、室内温度の上昇を抑える――。快適な環境を実現する、水性タイプの外壁用遮熱塗料です。

屋根や室内の温度上昇を抑制するために日本特殊塗料が開発した、省エネ屋根用遮熱塗料「パラサーモN」「水性パラサーモ」や省エネ外壁用遮熱塗料「パラサーモ外壁用」などのパラサーモシリーズは、上市以来、多くの方々から好評をいただき、全国各地区の工場や戸建て住宅などで採用実績が相次いでいます。

このパラサーモシリーズで培った技術と豊富な施工実績を生かし、より安全性を重視し、水性化した製品が「水性パラサーモ外壁用」です。

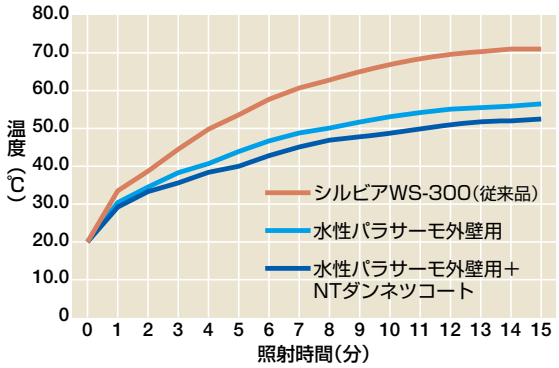
水性パラサーモ外壁用は、太陽光線に対する抜群の反射率と熱放射率に優れた環境対応型1液シリコン樹脂塗料です。壁面からの熱の侵入を遮り、快適な居住空間を実現します。また、屋根用遮熱塗料と組み合わせることによって、さらなる遮熱効果を発揮します。

特長

1 優れた遮熱性を発揮します。

太陽光に対する反射率の優れた着色顔料を採用することで、淡彩色の遮熱性能を高めることを可能にしました(当社比)。室内への熱の侵入を遮断し、エアコンなどの空調設備の省エネ効果に抜群の性能を発揮します。さらに、当社の「NTダンネツベース」「NTダンネツコート」と組み合わせることで遮熱に加え、断熱効果も付与できます。

■遮熱比較試験



※試験用室内ランプを用い、一定の時間照射しスレート板裏面の温度を測定しました。
※遮熱試験に使用した標準色はR-806Pです。

●**ご注意**:遮熱(温度低減)効果は色相により異なります。基準色より既存塗膜が淡彩系の場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもございますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にご確認ください。

2 環境対応型塗料です。

水性塗料で臭気も少なく、シックハウス対策、学校安全衛生基準、厚生労働省の規制を受ける化学物質は含有していないため、安全性に優れています。

3 抜群の耐久性を発揮します。

高耐候性のシリコン樹脂を使用しているため、優れた耐久性を発揮し、外壁の保護とともに美しい外観を長期にわたり保ちます。

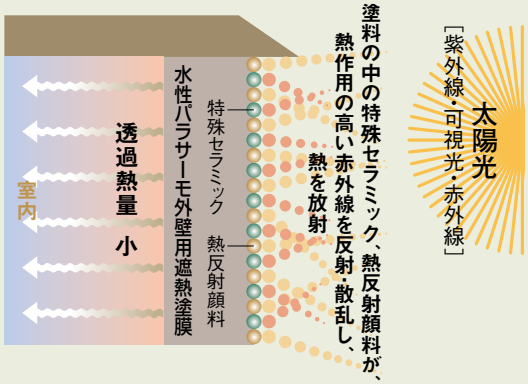
4 作業性に優れています。

1液タイプのため、刷毛およびローラー作業性に優れています。また、厚み感のある独特な美しい仕上りが得られます。

このように熱を遮ります。

「水性パラサーモ外壁用」の遮熱メカニズム

①通常の塗膜では、太陽光スペクトルのうち、とくに熱作用の高い近赤外線を吸収するため温度上昇が大きいのに対し、水性パラサーモ外壁用は配合された特殊な熱反射顔料や特殊セラミックが、熱作用の高い近赤外線を効率よく反射・散乱し、太陽熱の吸収を防ぎます。
②水性パラサーモ外壁用では、塗膜にいったん吸収された熱を特殊セラミックの働きにより熱放射します。
③これらの複合作用により、高い遮熱性能を実現します。



用途

- コンクリート・モルタルの塗装
- 複層仕上塗材のトップコート
- スレート板、窯業系サイディングボード、無機ボードなどの塗装
- PC板・コンクリートパネルなどの塗装
- 改修工事のトップコート

標準色(24色)

R-804P	R-810P	R-821P	R-840P
R-805P	R-814P	R-822P	R-841P
R-806P	R-815P	R-828P	R-843P
R-807P	R-818P	R-829P	R-845P
R-808P	R-819P	R-834P	R-847P
R-809P	R-820P	R-839P	R-849P

※色相は「NTダンネツコート標準色色見本帳」(第2版)をご参照ください。
※標準色以外の色相には対応できません。　※艶調整には対応できません。

標準塗装仕様

工法名＼工程数	❶	❷	❸	❹	❺
水性プライマー工法 遮熱仕様	●NT水性カチオンプライマー 使用量0.1～0.15kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	—	—
シルビアサーフ ウールローラー工法 遮熱仕様	●シルビアサーフ 使用量0.3～0.5kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	—	—
シルビアサーフ　大波工法 遮熱仕様	●シルビアサーフ 使用量0.8～1.5kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	—	—
NTダンネツベース　大波工法 遮熱・断熱工法	●NTダンネツベース 使用量0.5～1.0kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	—	—
NTダンネツベース+ NTダンネツコート大波 遮熱・断熱工法	●NTダンネツベース 使用量0.5～1.0kg/㎡	●NTダンネツコート 使用量0.6～0.8kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	—
NTダンネツコート W断熱大波工法 遮熱・断熱工法	●NT水性カチオンプライマー 使用量0.1～0.15kg/㎡	●NTダンネツコート 使用量0.6～0.8kg/㎡	●NTダンネツコート 使用量0.6～0.8kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡
金属改修仕様　エポラオールプライマー工法 遮熱仕様	●エポラオールプライマー遮熱ホワイト 使用量0.13～0.16kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	●水性パラサーモ外壁用 使用量0.12～0.15kg/㎡	—	—

※記載の仕様は標準塗装仕様です。施工環境、施工条件、下地の凹凸などにより、使用量は増減します。
※下塗りは「エポラマイルドプライマーS」「エポラ浸透遮熱プライマー」も使用できます。
※下地の劣化が激しく、脆弱で吸い込みが多い場合、下塗りの塗布量は0.3～0.5kg/㎡になる場合があります。
※下地の劣化が激しく、脆弱で吸い込みが多い場合は、下塗りに「エポラマイルドプライマーS」「エポラ浸透遮熱プライマー」を推奨します。ご使用に際しては最寄りの営業所へお問い合わせください。

構成製品一覧

	製品名	色相	荷姿	塗装方法・希釈量	希釈剤	可使時間(23℃)	施工間隔(23℃)
下塗り	NT水性カチオンプライマー	・クリヤー	15kg、4kg	●ローラー、刷毛…無希釈	—	—	2時間以上72時間以内
下塗り	エポラオールプライマー	・グレー ・赤サビ ・遮熱ホワイト	16kgセット　A液:14kg　B液: 2kg 4kgセット　A液:3.5kg　B液:0.5kg	●ローラー、刷毛…無希釈	—	6時間以内	12時間以上72時間以内
下塗り兼中塗り	シルビアサーフ	・ホワイト系	16kg	●中毛ローラー…0.5～1.6kg ●砂骨ローラー…0～0.5kg	水	—	16時間以上72時間以内
下塗り兼中塗り	NTダンネツベース	・ホワイト系	12kg	●砂骨ローラー…0～0.36kg	水	—	16時間以上72時間以内
中塗り	NTダンネツコート	・ホワイト系	10kg	●砂骨ローラー…0～0.3kg	水	—	2時間以上72時間以内
上塗り	水性パラサーモ外壁用	標準色24色 (特注色不可) (艶調整不可)	16kg	●ローラー、刷毛…0～1kg ●スプレー…0～2kg	水	—	2時間以上72時間以内

●気温30℃以上では「エポラオールプライマー」の可使時間が短くなり「2時間」程度になります。夏場はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間」以内に使い切るようにしてください。

■施工上の注意点

【素地調整について】

●粗面やALC面、多孔質下地など、下地に問題がある場合は「NTカチオンシリーズ」などを使用し、素地調整を行なってください。その後は「NT水性カチオンプライマー」を塗布してください。
●風化面、吸い込みの多い下地の場合は再度、プライマーを増し塗りしてください。
●既存塗膜の劣化状況によっては、別途プライマーや目粗しが必要になります。
●素地の状態は表面含水率10%以下(ケット科学社製CH-2型)または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
●表面のチョーキング、ゴミ、ホコリ、かび類、藻類、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行なってください。
●高圧水洗機が使用できない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、ごみやほこり、かび類、藻類を完全に除去してください。著しくかびや藻の発生しやすい環境下では、防かび、防藻効果が充分に発揮されない場合があります。
●高圧水洗機やスプレー塗装の際は、施工中のミスト飛散防止の養生を充分に行なってください。
●赤サビ、白サビ、緑青など、サビの汚れには効果がありません。サビが発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去して、金属用のプライマーを施工してください。
●油分が付着している場合は中性洗剤などを使用し、除去してください。
●下塗りでパターンが必要な場合は、シルビアサーフまたはNTダンネツベースを使用してください。ハイブルーフやNT弾性コートなどの高弾性タイプの塗料は、塗膜の割れを引き起こしますので使用しないでください。
●塗り替え塗装で既存塗膜が2液溶剤系フッ素樹脂塗料、2液溶剤系シリコン樹脂塗料、弾性スタッコ、弾性リシン、アクリルトップの場合、既存塗膜がすでに膨れている、また既存塗膜の表面にピンホール(細かな気泡)が生じている場合があります。その上に塗装しますと膨れがさらに大きくなる可能性がありますので、上記の場合は既存塗膜を完全に除去してください(とくに部材が軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディング、発泡ウレタンなどを使用した断熱工法の外壁の場合は注意が必要です)。既存塗膜面を剥離した個所は、なるべく既存塗膜と同一種類の塗料を用い、パターンの復旧を行なってください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状況、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。

【塗料と塗装について】

●仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅が生じることがあります。
●使用後は塗装器具メーカーの指示に従い、適切な洗浄および保管をしてください。
●夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置しますと、つまりの原因となります。
●外壁表面を水洗いした後や雨、露、霜で濡れている場合は充分に乾燥させてから塗装してください。
●降雨、降雪が予測される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上での塗装は避けてください。
●塗膜が充分に乾燥しないときに降雨や結露などによる水分の影響を受けた場合、塗膜表面の白化や割れ、シミ、低汚染機能の喪失などが発生する可能性がありますので水分の影響を受ける場合は施工しないでください。また、乾燥までの時間を考慮して作業を実施してください。
●材料の保管は直射日光を避け、雨露のあたらない冷暗所に保管してください。
●希釈率は試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。ただし、希釈量は材料温度、色、施工条件、施工方法により変化しますので事前に試し塗りを行なってください。
●塗装間隔や塗布量、希釈量は必ず守ってください。長期の耐久性に影響があります。とくに、水性パラサーモ外壁用は過剰希釈しますとハジキ、光沢低下、外観不良などの原因になります。希釈量を厳守し塗装を行なってください。また、塗料が濃色の場合、色相によっては標準の塗り回数では隠ぺいしない場合があります。その場合は塗り回数を増やしてください。
●補修塗りを行なう場合は、使用塗料のロット、希釈量、塗装方法などの条件を同一にしてください。また塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色相差や光沢差がでることがあります。ローラー塗りと刷毛塗りが混在する場合は同一希釈量で行ない、補修塗りは最小範囲で行なってください。またローラー塗りの場合は、ローラーの目により仕上り色相が異なって見えることがありますので、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください(目立ちにくくなるように塗装してください)。
●塗装後、塗膜が乾燥するまでに養生テープを剥がしてください。塗膜乾燥後に養生テープを剥がす場合はカッターナイフなどを用いて取り外してください。
●可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けてください。また、これらの部位に塗料が直接触れないようにしてください。
●建物の入隅部などに塗料が溜まりますと収縮割れを起こす可能性がありますので、均一に塗装してください。
●シーリング材の劣化などがある場合には打ち替えを行なってください。
●シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので極力行なわないでください。やむを得ずに使用する場合はシーリング材が完全硬化した後に、シルビアEプライマーを下塗りすることで不具合の軽減がはかれますが、それでも、シーリング材の種類、使用条件などにより、不具合が起こることがあります。
●目地幅、隙間幅が大きい場合や建物やボードの動きの激しい部位のシーリング部への塗装は塗膜が割れる場合がありますので避けてください。
●シーリング材が使用されている部位周辺は、シーリング材から溶出する可塑剤やシリコンオイルなどの付着により、充分な低汚染性が発揮されない場合があります。
●塗装色より既存塗膜の色が薄い場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもありますのでご注意ください。また、色相により遮熱効果が変わります。
●NTダンネツベースおよびNTダンネツコートは冬季および高湿度状態では塗膜の乾燥が極端に遅くなり、降雨や結露などで塗膜表面に白化などの異常を引き起こす可能性があります。このため、乾燥までの降雨や結露などの水分の影響を考慮して施工してください。また、NTダンネツベースおよびNTダンネツコートの塗膜内部の乾燥不足状態で上塗りを施工した場合、降雨や結露などで膨れなどの不具合が発生する可能性があります。NTダンネツベースおよびNTダンネツコートの乾燥を確認して上塗塗装を行なってください。
●大気中の浮遊鉄成分の多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
●傾斜壁の下端部、笠木などで水切りのない部位、排気口周辺など、局所的に汚れの負荷が大きい場合は、低汚染性が充分に発揮されない場合があります。

取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

●火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
●万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
●施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
●取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
●取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
●材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
●容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
●取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
●目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
●誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
●材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
●蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
●保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
●子供の手の届かないところに保管してください。
●中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
●標準色以外をご指定された場合、褪色が早い場合や、塗膜性能が低下する可能性があります。
●本製品は環境を配慮した材料を用いていますが、ご採用頂いたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
●詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

＊製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀞1-10	☎(0463)23-2135	FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111	FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ　https://www.nttoryo.co.jp/

■代理店

SPG-0318OD-S #5 [2018年3月作成]

nittoku

EXTERIOR
COLOR SAMPLE

外壁

標準色

●色番号にご注意ください。
▲一般塗料と▲遮熱塗料の色番号は異なり、遮熱塗料の色番号の末尾には「P」が付きます。ご注文いただく際は、以下の一覧にて色番号をよくご確認ください。

サイズ
左右40×天地18ミリ

▲R-801 [一般塗料]
▲R-801P [遮熱塗料]

▲R-802 [一般塗料]
▲R-802P [遮熱塗料]

▲R-803 [一般塗料]
▲R-803P [遮熱塗料]

▲R-804 [一般塗料]
▲R-804P [遮熱塗料]

▲R-805 [一般塗料]
▲R-805P [遮熱塗料]

▲R-806 [一般塗料]
▲R-806P [遮熱塗料]

▲R-807 [一般塗料]
▲R-807P [遮熱塗料]

▲R-808 [一般塗料]
▲R-808P [遮熱塗料]

▲R-809※ [一般塗料]
▲R-809P※ [遮熱塗料]

▲R-810※ [一般塗料]
▲R-810P※ [遮熱塗料]

▲R-811 [一般塗料]
▲R-811P [遮熱塗料]

▲R-812 [一般塗料]
▲R-812P [遮熱塗料]

▲R-813 [一般塗料]
▲R-813P [遮熱塗料]

▲R-814 [一般塗料]
▲R-814P [遮熱塗料]

▲R-815 [一般塗料]
▲R-815P [遮熱塗料]

▲R-816 [一般塗料]
▲R-816P [遮熱塗料]

▲R-817 [一般塗料]
▲R-817P [遮熱塗料]

▲R-818 [一般塗料]
▲R-818P [遮熱塗料]

▲R-819 [一般塗料]
▲R-819P [遮熱塗料]

▲R-820 [一般塗料]
▲R-820P [遮熱塗料]

▲R-821 [一般塗料]
▲R-821P [遮熱塗料]

▲R-822 [一般塗料]
▲R-822P [遮熱塗料]

▲R-828 [一般塗料]
▲R-828P [遮熱塗料]

▲R-829 [一般塗料]
▲R-829P [遮熱塗料]

▲R-834 [一般塗料]
▲R-834P [遮熱塗料]

▲R-839 [一般塗料]
▲R-839P [遮熱塗料]

▲R-840 [一般塗料]
▲R-840P [遮熱塗料]

▲R-841 [一般塗料]
▲R-841P [遮熱塗料]

▲R-843 [一般塗料]
▲R-843P [遮熱塗料]

▲R-845 [一般塗料]
▲R-845P [遮熱塗料]

▲R-847 [一般塗料]
▲R-847P [遮熱塗料]

▲R-849 [一般塗料]
▲R-849P [遮熱塗料]

●本色見本帳のPDF版をカラー出力された場合、この色見本帳に掲載しています標準色とは著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文はお受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の色見本帳でお願いします。

●この色見本は紙に塗装しておりますので、実際の仕上がりとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。
●この色見本は一般塗料で作製したものです。遮熱塗料は機能性顔料等の特殊な顔料を使用しておりますので、一般塗料とは色味に多少の違いが生じます。また、塗装する膜厚や標準以上の希釈量では色目が少し変ります。ご注意ください。
●遮熱効果は色相により異なりますのでご注意ください。詳細は最寄の営業所までお問い合わせください。
●※印の色は濃色につき、割高となります。